

2023年2月6日 全8頁

# 新型コロナ拡大の影響を探る 消費データブック（2023/2/6号）

個社データ・業界統計・JCB消費NOWから足元の消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

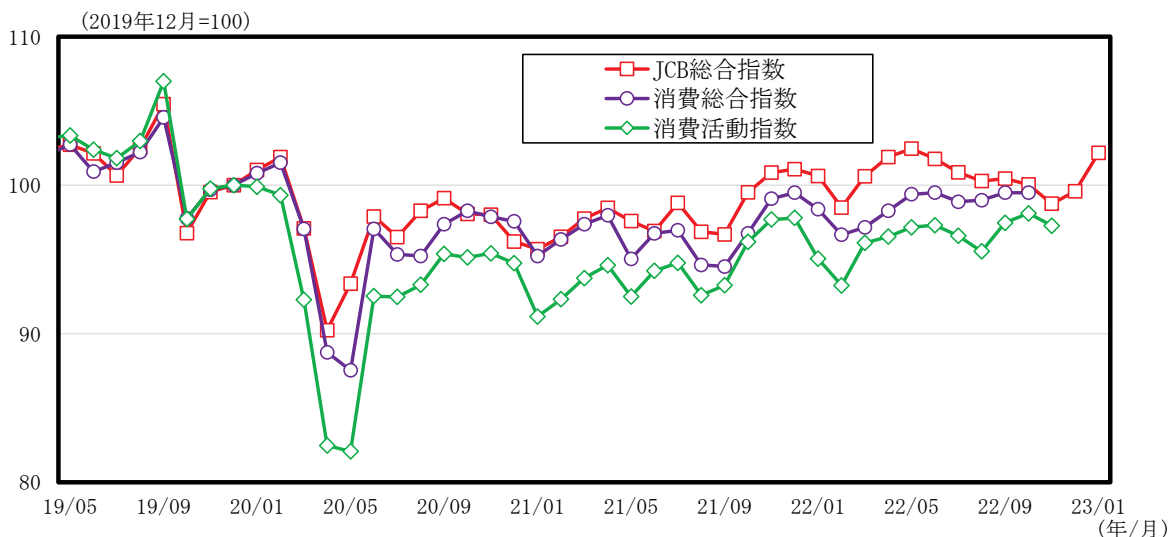
## [要約]

- 2022年12月の消費は前月から増加した。財消費のうち、大手アパレル2社（しまむら・ユニクロ）の既存店売上高は、新型コロナウイルス感染拡大前である2019年同期比で前月から伸び率が高まった。新車販売台数は前月から小幅に増加した。サービス消費のうち、新幹線輸送量やJAL（グループ会社含む）の旅客輸送量は2019年同期比でマイナス幅が前月から縮小した。外食需要や宿泊需要は前月から回復した。
- 2023年1月の消費は増加基調を維持したとみている。財消費はまちまちな結果だった一方、サービス消費は前月から回復が継続しただろう。財消費のうち、百貨店大手3社の売上高伸び率や大手アパレル3社の既存店売上高伸び率は前月から低下した。新車販売台数は前月から5%増加した。サービス関連のうち、外食需要や宿泊需要は前月から回復した。移動人口の動向を見ると、月中旬にかけて増加し、感染拡大前の2019年同月の水準を1割程度下回る水準まで回復した。

## <消費全体の動き>

- ◆【JCB 総合指数】 23 年 1 月前半の JCB 総合指数<sup>1</sup>（大和総研による季節調整値）をもとに 1 月の消費の伸び率を推計すると、前月比+2.6%となった。財は前月から低下した一方、サービスは前月から大幅に上昇した。

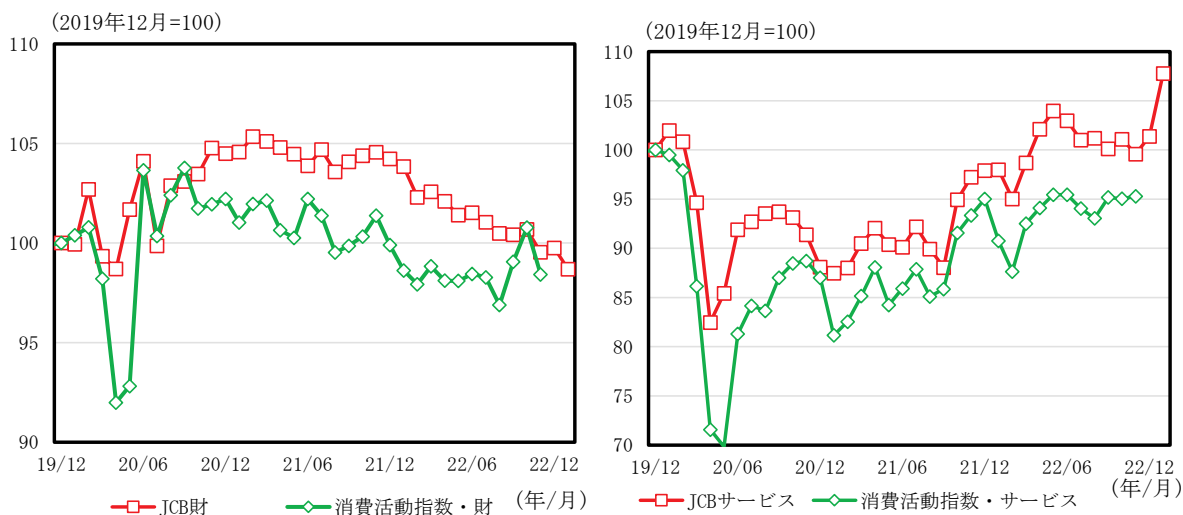
図表 1：消費総合指数・消費活動指数・JCB 総合指数



(注) JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI(2020 年基準)で実質化。

(出所) 日本銀行、内閣府統計、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



(注 1) JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI(2020 年基準)で実質化。

(注 2) 財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

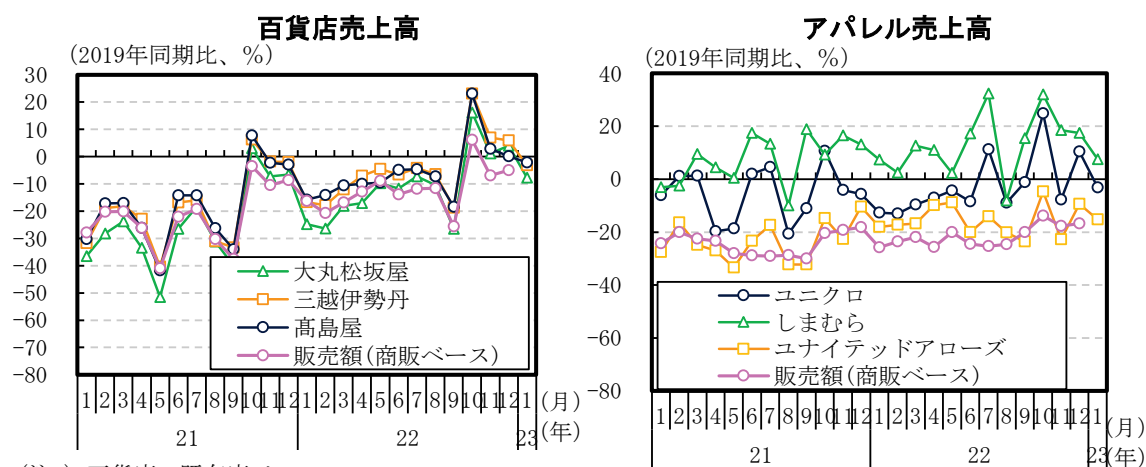
(出所) 日本銀行、内閣府統計、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

<sup>1</sup> JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

## <小売関連>

- ◆【百貨店】 大手 3 社の 12 月の既存店売上高は、新型コロナウイルス感染拡大前である 2019 年同期比で大丸松坂屋以外では伸び率が前月から低下し、同約 0~1 割増。23 年 1 月は同▲1~0 割程度とマイナス圏に転じた。新型コロナウイルス感染「第 8 波」などがマイナス要因。
- ◆【アパレル】 12 月のアパレル各社の既存店売上高は、2019 年同期比でしまむらとユニクロではプラス圏。23 年 1 月は 3 社とも売上高伸び率が前月から低下し、ユニクロとユニテッドアローズはマイナス圏。月中旬にかけて平均気温が平年よりも高く推移し、冬物全般の動きが鈍かった。

図表 3：百貨店・アパレルの売上高



(注1) 百貨店：既存店ベース。

(注2) アパレル：既存店ベース。ユニクロとユニテッドアローズはネット通販を含む数値。

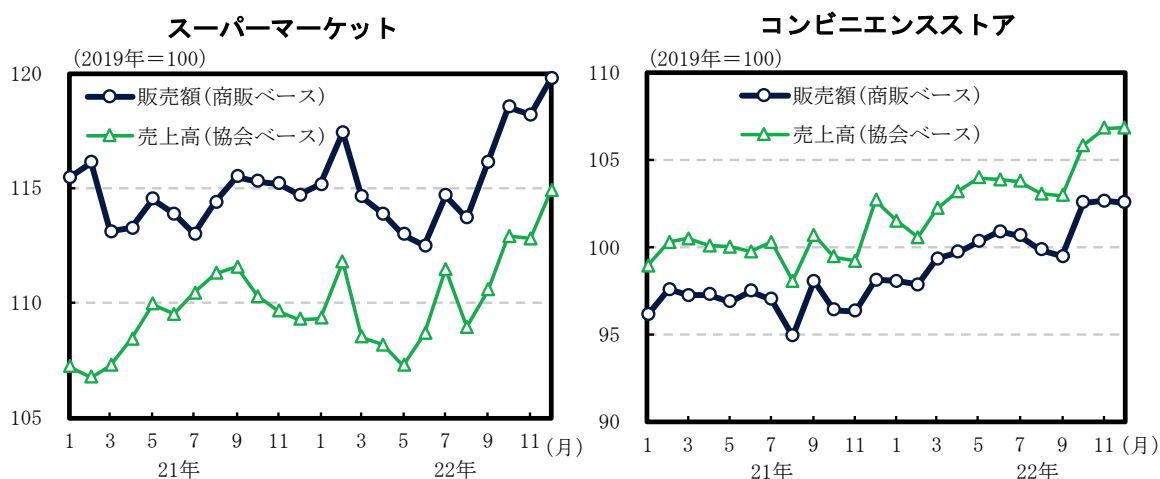
しまむらの各月の数値は前月21日から当月20日の集計値、20年10月以降はオンラインストア含む。

(注3) アパレル販売額(商販ベース)は、商業動態統計の「衣服・身の回り品卸売業」を参照。

(出所) 経済産業省統計、各社資料より大和総研作成

- ◆【スーパーマーケット】 12 月の売上高は前月比+1.9% (大和総研による季節調整値)。惣菜や一般食品などが増加。
- ◆【コンビニエンスストア】 12 月の売上高は前月比+0.0% (大和総研による季節調整値)。

図表 4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高

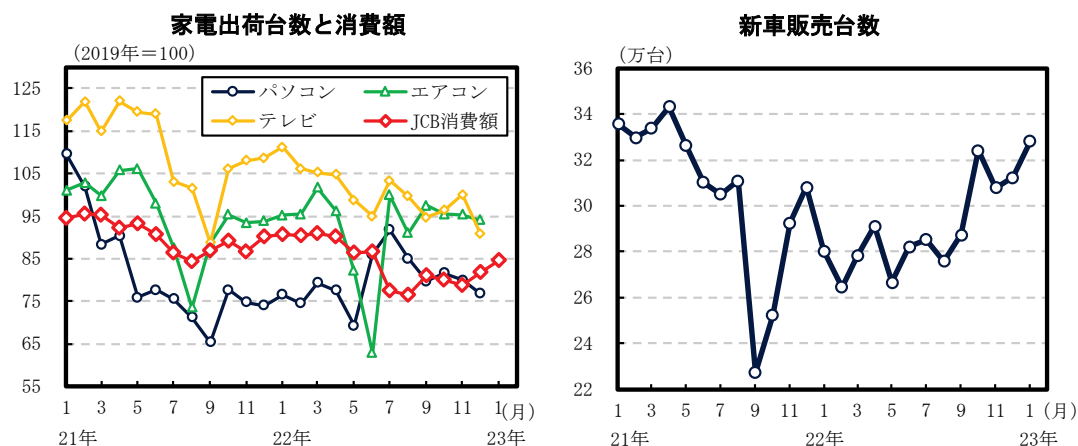


(注) 売上高(協会ベース)は既存店ベースの数値。大和総研による季節調整値。

(出所) 経済産業省、全国スーパーマーケット協会、日本フランチャイズチェーン協会より大和総研作成

- ◆【家電】 12月の出荷台数はテレビが前月比▲9.2%、パソコンが同▲4.0%、エアコンが同▲1.3%（大和総研による季節調整値）。23年1月のJCB消費額は同+3.6%。
- ◆【自動車】 23年1月の新車販売台数は前月比+5.0%（大和総研による季節調整値）と、21年5月以来の高水準となった。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



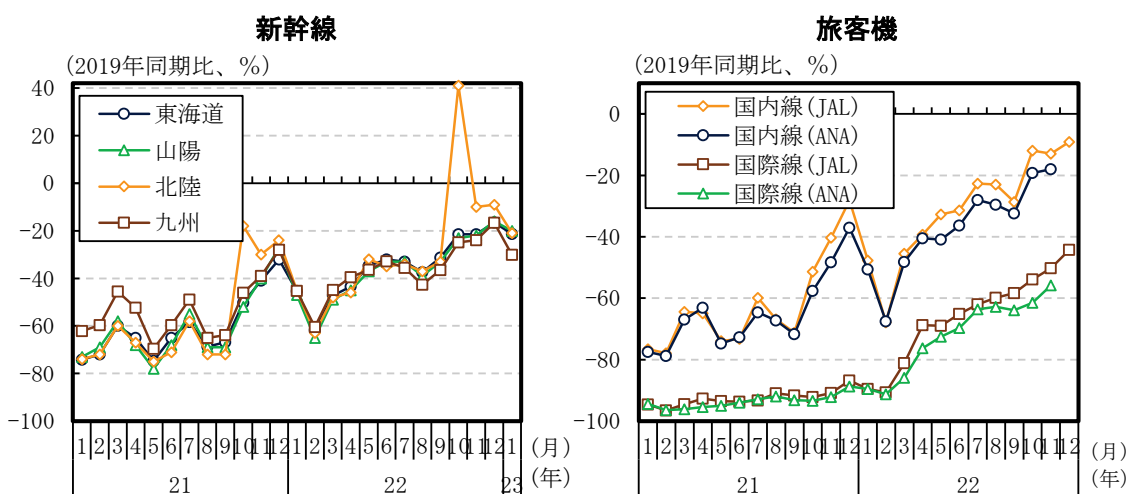
(注) 大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。23年1月分は月前半のデータをもとに伸び率を推計。

(出所) 電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

### <サービス関連>

- ◆【新幹線】 23年1月の輸送量は、感染拡大前である2019年同期比で前月からマイナス幅が拡大し、約2~3割減に。
- ◆【旅客機】 12月のJAL（グループ会社含む）の国内線輸送量は感染拡大前である2019年同期比約1割減、国際線輸送量は前月からマイナス幅が縮小し同約4割減程度。航空各社は渡航需要の高まりを受けて、1月以降の国際線の旅客便の供給量の拡大を発表した。

図表6：新幹線・旅客機の利用状況

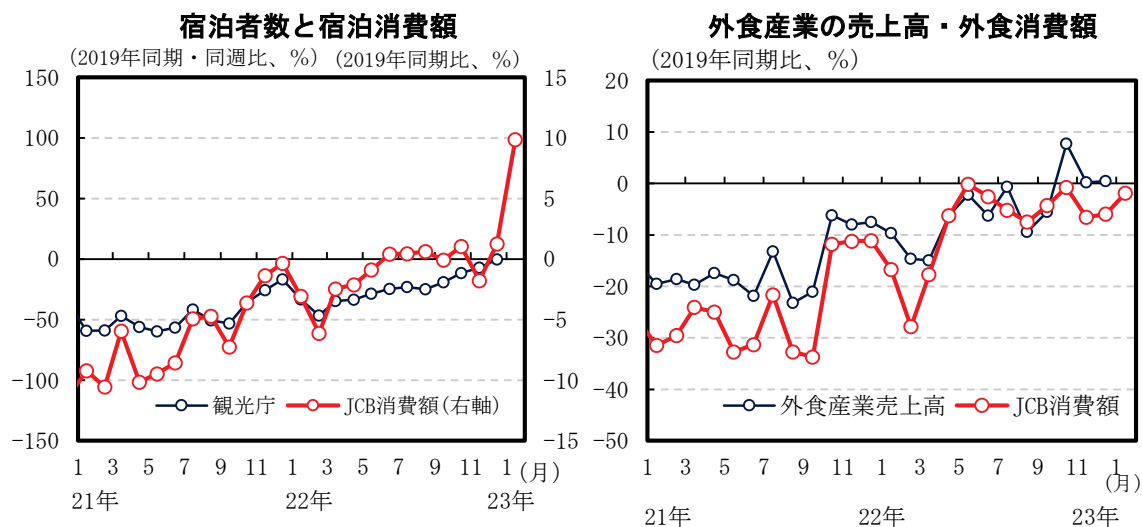


(注) 23年1月の山陽と北陸は21日、九州は23日、東海は29日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】 12月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は感染拡大前である2019年同期比▲0%と、前月からマイナス幅が縮小。23年1月のJCB宿泊消費額は同+10%。
- ◆【外食】 12月の外食産業の売上高は感染拡大前である2019年同期比で前月からほぼ横ばい。23年1月のJCB外食消費額は同▲2%。

図表7：国内宿泊者数／外食産業の売上高

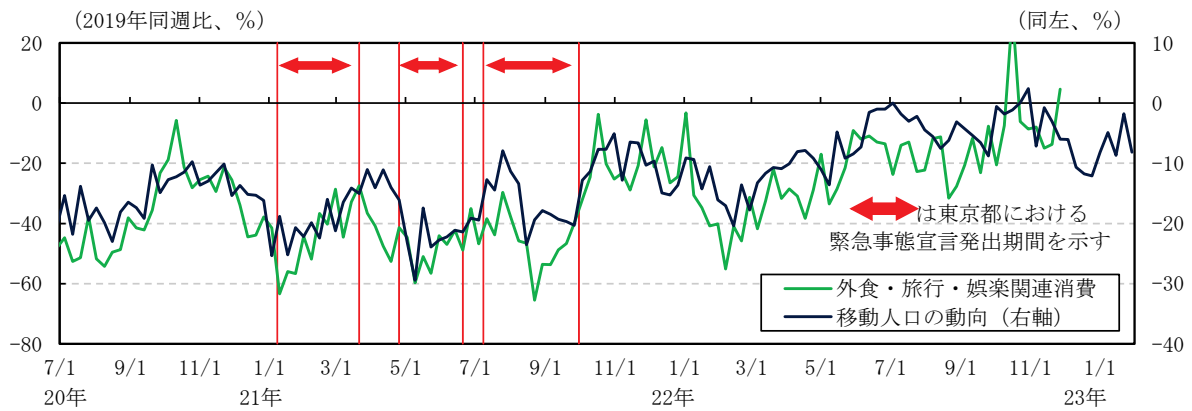


(注) 23年1月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を推計。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

(出所) 観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<参考：人出・高速道路交通量>

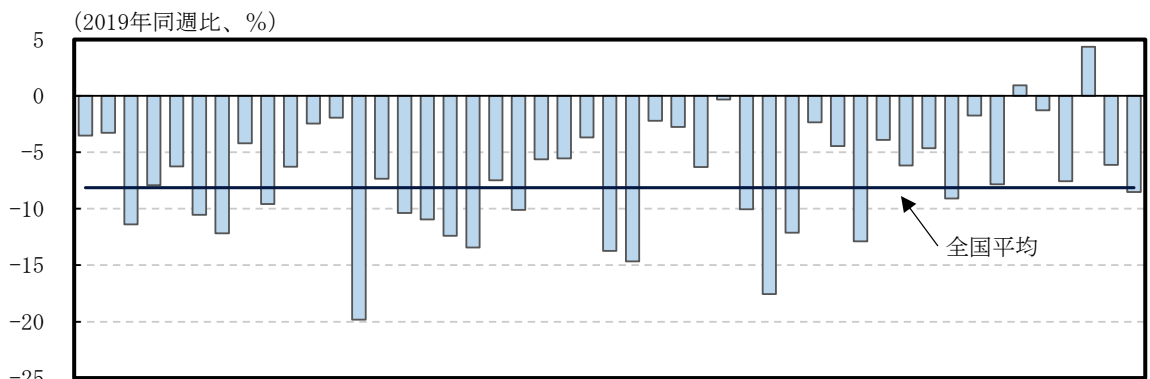
図表 8-1：移動人口の動向（直近値 1/29）と外食・旅行・娯楽関連消費



(注) 移動人口は全ての市区町村の「推定居住地が市区町村外のものの人口」を週ごとに集計したもの。  
 外食・旅行・娯楽関連消費は「外食」「交通」「教養娯楽サービス」の合計値。

(出所) 総務省統計、V-RESASより大和総研作成

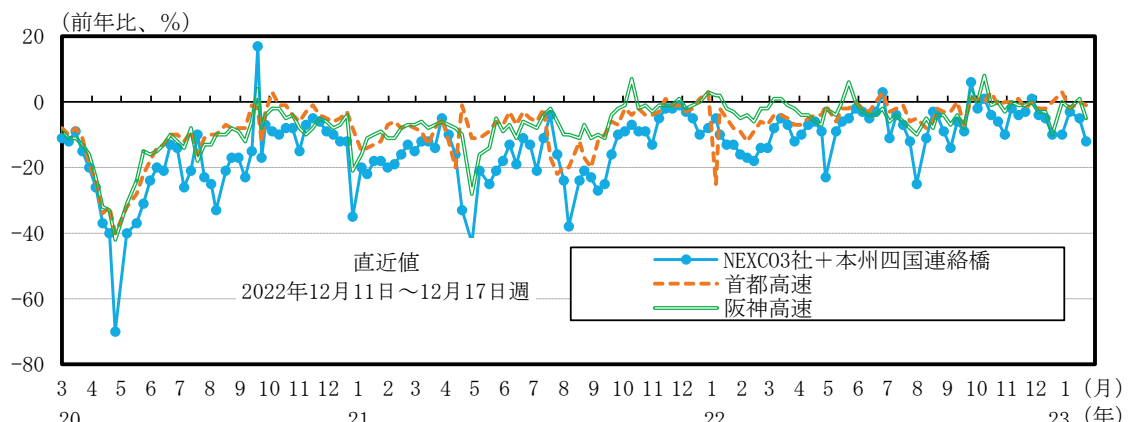
図表 8-2：移動人口の動向（1/23～1/29 週、都道府県別）



北青岩宮秋山福茨栃群埼千東神新富石福山長岐静愛三滋京大兵奈和島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿沖  
 海森手城田形島城木馬玉葉京奈潟山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良歌取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎児縄  
 道 川 山 島

(出所) V-RESASより大和総研作成

図表 9：高速道路交通量

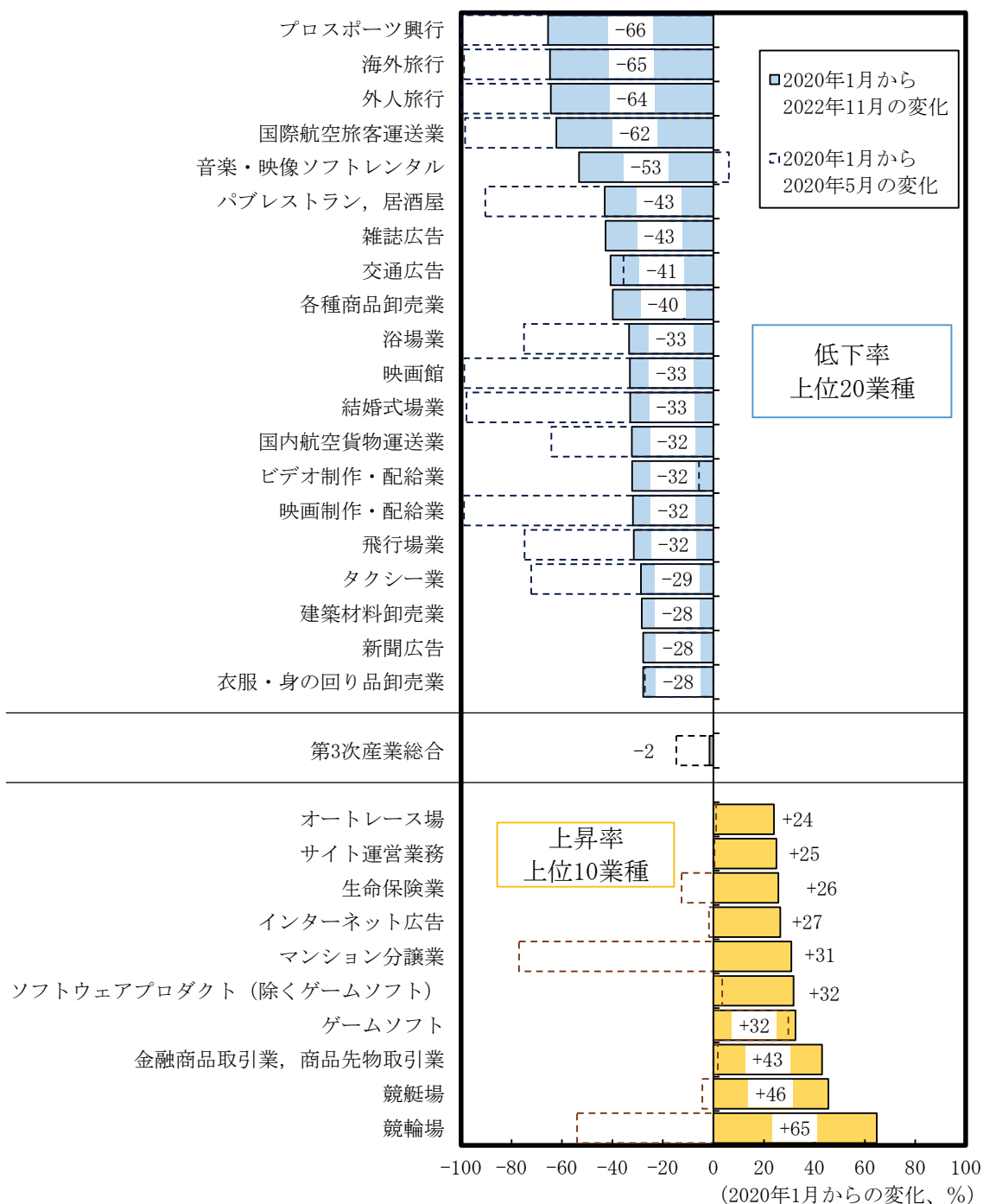


(注) 週次データ。高速道路交通量のゴールデンウィークとお盆期間、<sup>22</sup>シルバーウィーク、年末年始の前後の週は集計日数が異なる。

(出所) 国土交通省より大和総研作成

<参考：第3次産業活動指数>

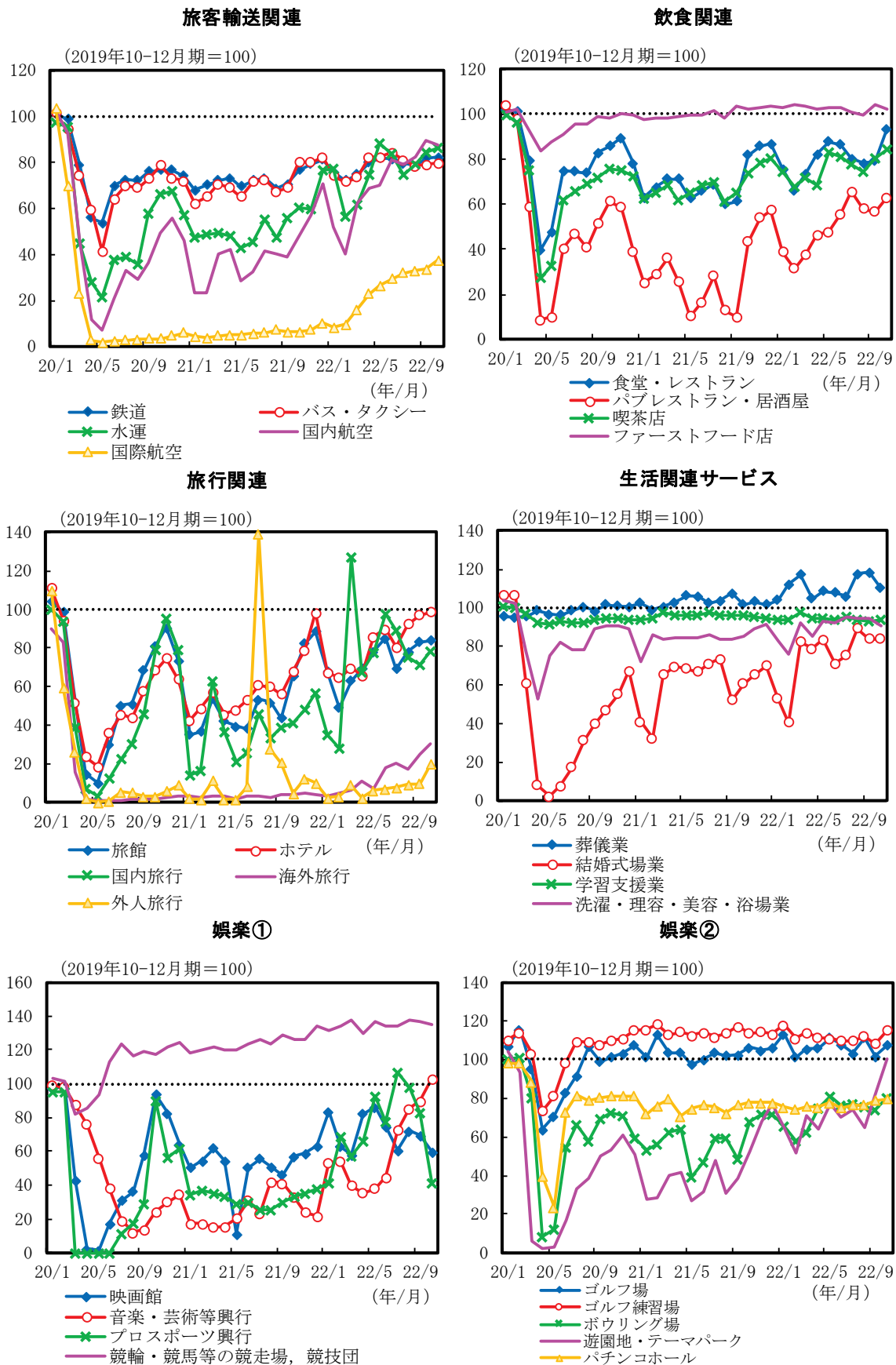
図表 10-1：第3次産業活動指数（2022年11月）



(注) 季節調整値。図中の数値は2020年1月から2022年11月の変化率。

(出所) 経済産業省より大和総研作成

図表 10-2 : 運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成